

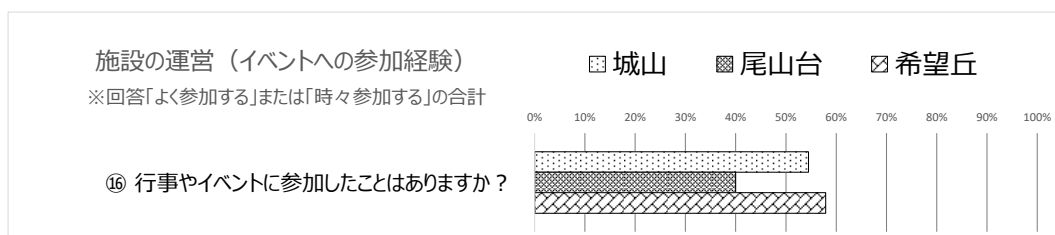
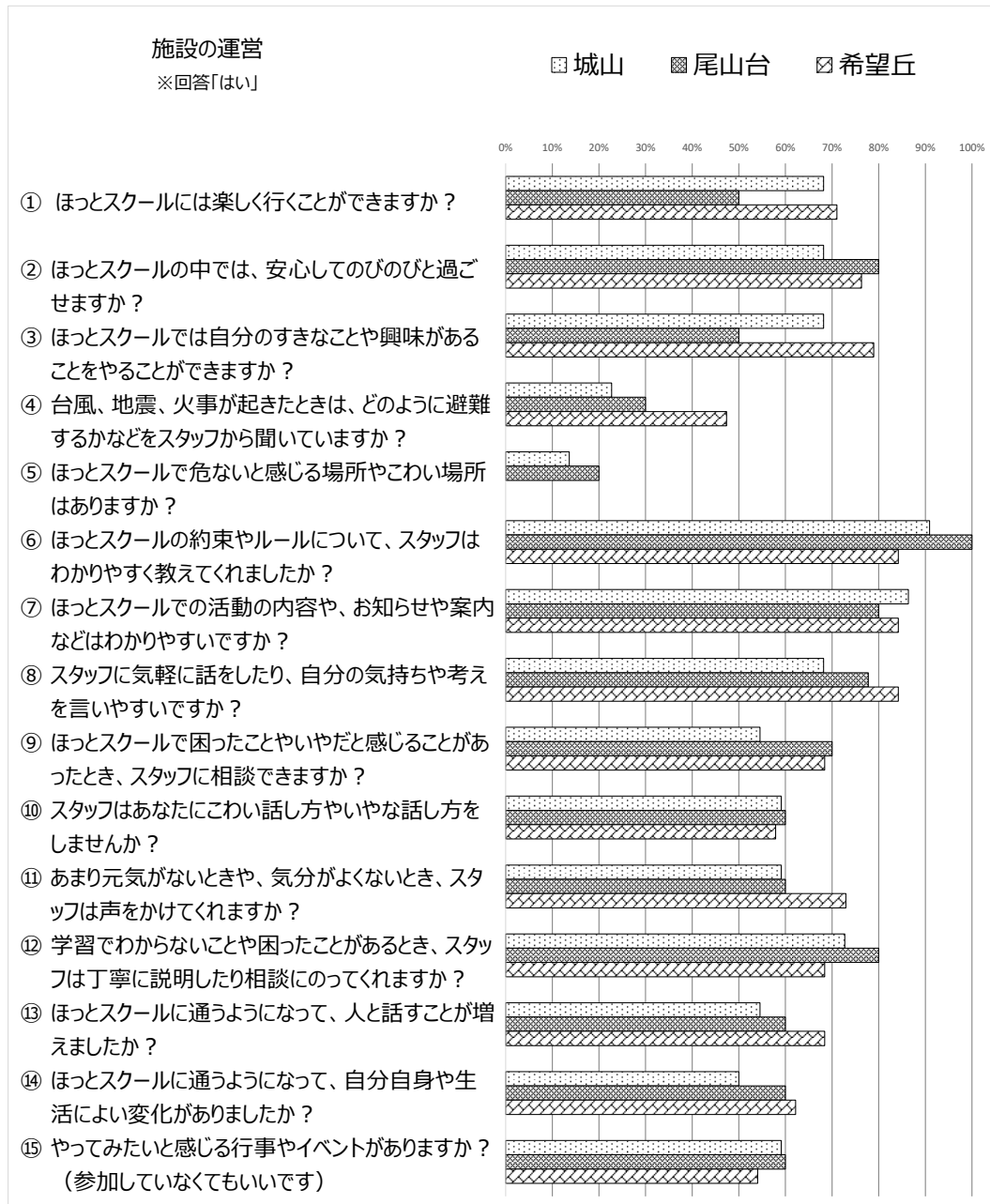
4. アンケート集計結果の総括

設問は、「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」の4つの選択肢となっており、下記は「はい」の回答率を示したグラフである。集計結果について、特徴的な点を下記に記す。

※尾山台はサンプル数が少なく、十分に比較ができる回答率ではないという前提がある。

(1) 通室生

【「はい」の回答者のグラフ】



【ほっとスクールでの過ごし方】

① 楽しく行けている

- ・「はい」は、希望丘 71.1%、城山 68.2%、尾山台 50.0%の順。
- ・いずれの施設も「いいえ」は一人もいない。

② 安心して過ごせている

- ・「はい」は、尾山台 80.0%、希望丘 76.3%、城山 68.2%の順。
- ・尾山台、城山では「いいえ」は一人もいない。希望丘では 5.3%。

③ 自分の好きな活動ができている

- ・「はい」は、希望丘 78.9%、城山 68.2%、尾山台 50.0%の順。
- ・城山、希望丘では「いいえ」は一人もいない。尾山台では 10.0%。

いずれの施設でも「いいえ」はほとんど見られず、安心してのびのび過ごしている傾向にあるといえる。自由意見でも、不安等を訴える意見はなく、「楽しい」「安心」「落ち着く」等というプラスの回答がいずれの施設でも見られた。

【危機管理】

④ 緊急時の避難方法を理解している

- ・「はい」は、希望丘 47.4%、尾山台 30.0%、城山 22.7%の順。
- ・「いいえ」は、城山 50.0%、尾山台 40.0%、希望丘 34.2%の順。

全体的に、理解しているが 3～5 割と低くなっている点は、令和 2 年度から新型コロナウイルス感染症対策により避難訓練が十分に実施できていない状況が影響していると考えられる。そうした中でも比較的、希望丘の理解度が高い要因は、このような状況においても通室生を交えた避難訓練を定期的に行っている影響と推測される。定期的な訓練等の必要性を改めて認識しておきたい。

⑤ 危ないまたはこわい場所がある

- ・「はい」は、希望丘 0%、城山 13.6%、尾山台 20.0%の順。
- ・「いいえ」は、希望丘 84.2%、城山 77.3%、尾山台 70.0%の順。

いずれの施設でも「はい」はほとんど見られず、安心して過ごしている傾向にあるといえる。城山で「はい」と感じた意見は、自由回答から「蜂の巣」があり蜂が施設内に飛来していたことが影響していると推測される（既に駆除されている）。

【活動に関する説明】

⑥ ほっとスクールの決まりごとの説明はわかりやすい

- ・「はい」は、尾山台 100.0%、城山 90.9%、希望丘 84.2%の順。
- ・尾山台、城山では「いいえ」は一人もいない。希望丘では 2.6%。

⑦ ほっとスクールの活動内容のお知らせは尾山台わかりやすい

- ・「はい」は、城山 86.4%、希望丘 84.2%、尾山台 80.0%の順。
- ・尾山台、城山では「いいえ」は一人もいない。希望丘では 2.6%。

いずれの施設でも「いいえ」はほとんど見られず、活動に関する説明をスタッフから分かりやすく受けているといえる。

【スタッフの対応】

⑧ 気軽に話をしたり気持ちを言いやすい

- ・「はい」は、希望丘 84.2%、尾山台 77.8%、城山 68.2%の順。
- ・尾山台では「いいえ」は一人もいない。城山では 9.1%、希望丘では 2.6%。

⑨ ほっとスクールでいやなことがあった時にスタッフに相談できる

- ・「はい」は、尾山台 70.0%、希望丘 68.4%、城山 54.5%の順。
- ・「いいえ」は、城山 9.1%、尾山台 20.0%、希望丘 13.2%の順。

⑩ スタッフのこわい言動がある

- ・「はい」は、尾山台 60.0%、城山 59.1%、希望丘 57.9%の順。
- ・「いいえ」は、尾山台 30.0%、城山 36.4%、希望丘 36.8%の順。

⑪ 気分が落ち込んでいるときにスタッフは声をかけてくれる

- ・「はい」は、希望丘 73.0%、尾山台 60.0%、城山 59.1%の順。
- ・「いいえ」は尾山台では一人もいない。城山では 4.5%、希望丘では 5.4%。

⑫ 学習の支援をしてくれる

- ・「はい」は、尾山台 80.0%、城山 72.7%、希望丘 68.4%の順。
- ・「いいえ」は尾山台では一人もいない。城山では 4.5%、希望丘では 5.3%。

いずれの施設でも、スタッフへの話しかけや相談について、「いいえ」はほとんど見られず、自由意見からもスタッフに親しみを持っている様子が見られる。スタッフのこわい言動があるかの設問に対して一定の「はい」がいることについては、自由回答でスタッフに問題があるとする意見は全くなかった。このことから、日常の指導上において適正な範囲と推測される。

スタッフからの声掛けや学習を含めた支援については、いずれの施設においても「いいえ」はほとんど見られず、十分に対応している様子が見られる。

【ほっとスクールに通ってからの変化】

⑬ 人と話すことが増えた

- ・「はい」は、希望丘 68.4%、尾山台 60.0%、城山 54.5%の順。
- ・「いいえ」は城山では一人もいない。尾山台では 10.0%、希望丘では 5.3%。

⑭ ほっとスクールに通うことで自分自身や生活により変化があった

- ・「はい」は、希望丘 62.2%、尾山台 60.0%、城山 50.0%の順。
- ・「いいえ」は城山では一人もいない。尾山台では 10.0%、希望丘では 5.4%。

ほっとスクールに通うことによる自身の変化については、いずれの施設でも「いいえ」はほとんど見られず、5~7割の通室生に良い方向への変化を感じている結果となっている。

⑮ 参加してみたいと感じる行事やイベントがある

- ・「はい」は、尾山台 60.0%、城山 59.1%、希望丘 54.1%の順。
- ・「いいえ」は、尾山台 20.0%、希望丘 16.2%、城山 13.6%の順。

⑩ 行事やイベントへの参加

・「よく参加する」「時々参加する」は、希望丘 57.9%、城山 54.5%、尾山台 40.0%の順。

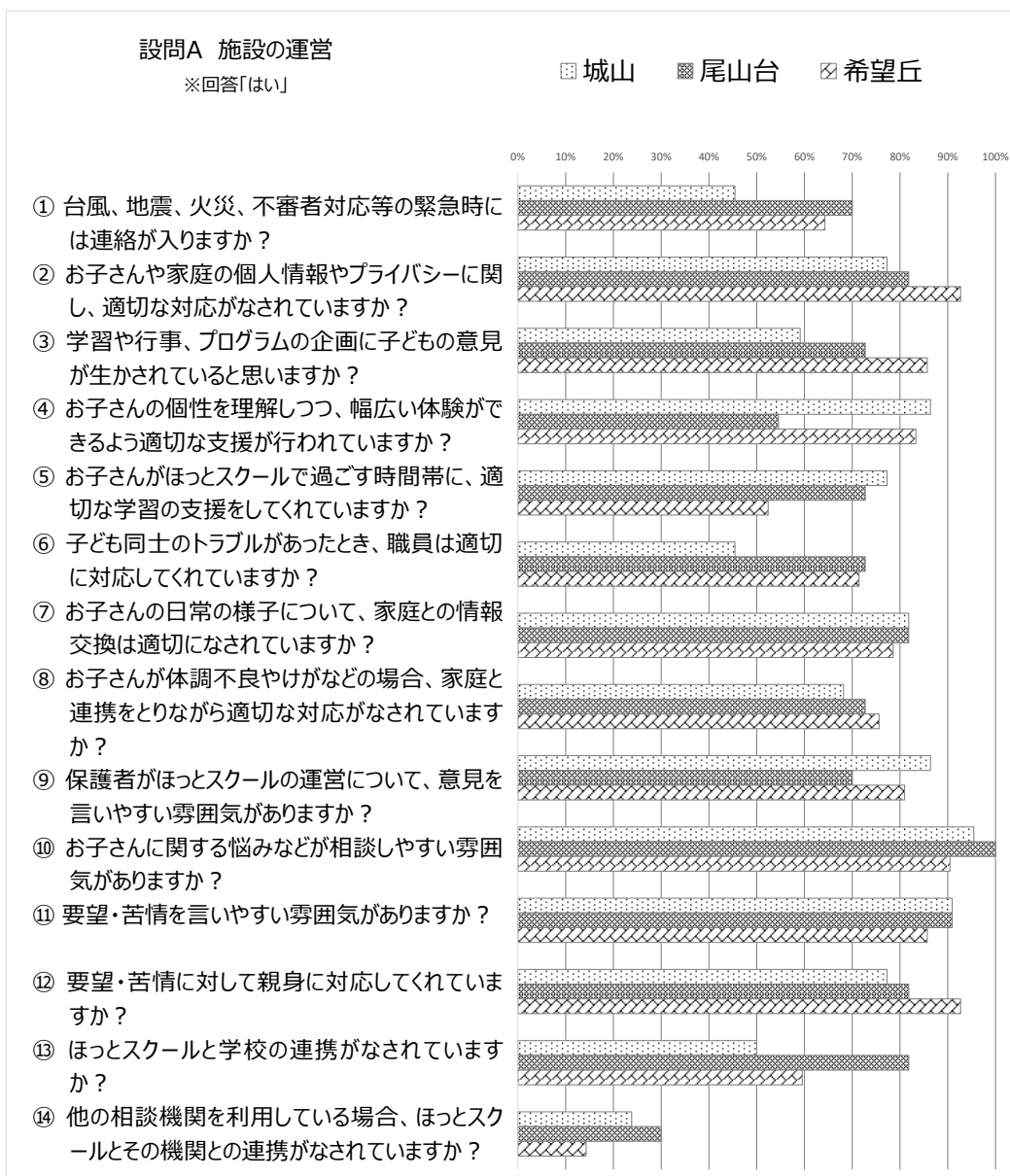
行事やイベントへの関心は、いずれの施設も 4～6 割程度となった。イベントや行事は比較的、希望丘で多く開催されているが、参加した経験のある通室生は、城山とあまり差が出ない結果となった。しかし、自由回答では、希望丘において具体的な活動内容の希望が 5 件あったことから、主体的な活動に繋がっている様子がうかがえる。

【その他：自由回答から】

いずれの施設でも、スタッフのやさしさ、安心感、楽しさをあげる意見が多数あり、もっと声掛けをしてほしいという要望も見られた。また友達と共に活動することが楽しいという意見も多く、スタッフや友達とのコミュニケーションがあることが、施設へ通う喜びに繋がっていることがうかがえる。

(2) 保護者

【「はい」の回答者のグラフ】



【危機管理体制】

① 緊急時に連絡が入る

- ・「はい」は、尾山台 70.0%、希望丘 64.3%、城山 45.5%の順。
- ・「わからない」は、城山 50.0%、尾山台 30.0%、希望丘 26.2%の順。
- ・いずれの施設も「いいえ」は一人もいない。

いずれの施設も「いいえ」は見られないが、「わからない」の回答が多かった。緊急事態に遭遇していないため、「わからない」とした回答も含まれる可能性がある（とくに城山において多い傾向である）。緊急時の連絡体制について、十分に理解を促進しておくことの必要性を改めて認識しておきたい。

② 個人情報やプライバシー保護に対応している

- ・「はい」は、希望丘 92.7%、尾山台 81.8%、城山 77.3%の順。
- ・いずれの施設も「いいえ」は一人もいない。

いずれの施設も「いいえ」は見られないため、十分な体制を敷いていると受け取られているといえる。中でも希望丘の「はい」の多さは、各種の徹底した情報保護体制の仕組みが影響したものと推測される。

【活動の内容】

③ 学習や行事、プログラムへ子どもの意見を反映している

- ・「はい」は、希望丘 85.7%、尾山台 72.7%、城山 59.1%の順。
- ・いずれの施設も「いいえ」は一人もいない。

④ 個性を理解した幅広い体験の支援をしている

- ・「はい」は、城山 86.4%、希望丘 83.3%、尾山台 54.5%の順。
- ・いずれの施設も「いいえ」は一人もいない。

いずれの施設も「いいえ」は見られないため、子どもに合わせた活動内容になるよう工夫されていると受け取られているといえる。

中でも子どもの意見の反映については、希望丘で「はい」が多く、子どもの主体性を軸に据えたプログラムを構成している結果と推測される。

幅広い体験の支援について、「はい」が少ない尾山台の自由回答では、「公立校と比べて体験や経験を積むことが少ないため、個性を生かした幅広い体験をいれてほしい」という意見が見られる。

⑤ 学習の支援をしている

- ・「はい」は、城山 77.3%、尾山台 72.7%、希望丘 52.4%の順。
- ・尾山台では「いいえ」は一人もいない。城山では 4.5%、希望丘では 14.3%。

城山や尾山台では「はい」が多く、「いいえ」はほとんど見られないことから、いずれの施設も適切に学習の支援を行っていると考えられる。午前中に、学習の時間が定められていると推測される。一方で、自由回答を見ると、「学習の時間を過ごすことが難しい」という意見が 2 件（城山）見られる。

希望丘は、城山や尾山台と比較すると「はい」が少なく、「いいえ」もやや多い。自由回答を見ると、「学習の時間が少ない」という意見が 3 件見られた。一律的な学習の時間が定められていないことによるものと推測される。

【スタッフの対応】

⑥ 子ども同士のトラブルに対応している

- ・「はい」は、尾山台 72.7%、希望丘 71.4%、城山 45.5%の順。

・いずれの施設も「いいえ」は一人もいない。

⑦ 家庭との情報交換をしている

- ・「はい」は、城山 81.8%、尾山台 81.8%、希望丘 78.6%の順。
- ・尾山台では「いいえ」は一人もいない。城山では 4.5%、希望丘では 2.4%。

⑧ 子どもの不調時に家庭と連携している

- ・「はい」は、希望丘 75.6%、尾山台 72.7%、城山 68.2%の順。
- ・いずれの施設も「いいえ」は一人もいない。

いずれの施設でも「いいえ」はほとんど見られず、児童・生徒の見守りや保護者との情報共有、連携を適切に行っていると受け取られているといえる。

通室生同士のトラブルの項目では、城山は「はい」が少ないが「わからない」も多くなっている。まだトラブルに遭遇していないため、「わからない」とした回答も含まれる可能性がある。

【相談・要望】

⑨ 運営について意見を言いやすい雰囲気がある

- ・「はい」は、城山 86.4%、希望丘 81.0%、尾山台 70.0%の順。
- ・いずれの施設も「いいえ」は一人もいない。

⑩ お子さんに関する悩みが相談しやすい

- ・「はい」は、尾山台 100%、城山 95.5%、希望丘 90.5%の順。
- ・いずれの施設も「いいえ」は一人もいない。

⑪ 要望・苦情をいやすい雰囲気がある

- ・「はい」は、城山 90.9%、尾山台 90.9%、希望丘 85.7%の順。
- ・いずれの施設も「いいえ」は一人もいない。

⑫ 要望・苦情に親身に対応している

- ・「はい」は、希望丘 92.7%、尾山台 81.8%、城山 77.3%の順。
- ・いずれの施設も「いいえ」は一人もいない。

いずれの施設でも「いいえ」は見られず、「はい」が非常に多い結果となっている。自由意見からも、保護者が相談や意見をスタッフに伝えやすく、親身に対応しているという意見が多数見られた。

【外部との連携】

⑬ ほっとスクールと学校の連携

- ・「はい」は、尾山台 81.8%、希望丘 59.5%、城山 50.0%の順。
- ・城山、尾山台では「いいえ」は一人もいない。希望丘では 7.1%。

いずれの施設でも「いいえ」はほとんど見られない。

尾山台で「はい」が多い理由として、昨年度は正式生だけでなく、体験生にも学校訪問や担任連絡会を行ったことが影響している可能性がある。

「はい」がそれほど多くない希望丘の自由意見では、ほっとスクール側の問題ではなく、「学校側における不登校やほっとスクールへの理解、関心の薄さ」を指摘する意見が4件見られた。

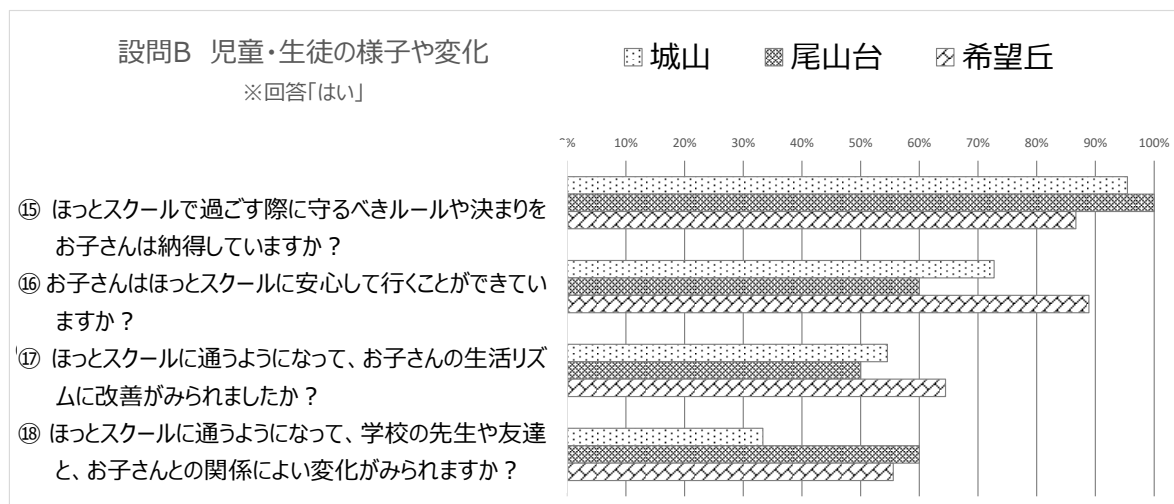
⑭ 他の相談機関との連携

- ・「はい」は、尾山台 30.0%、城山 23.8%、希望丘 14.3%の順。

- ・城山では「いいえ」は一人もいない。尾山台では 10.0%、希望丘では 9.5%。

いずれの施設でも「いいえ」はほとんど見られず、「わからない」が半分以上を占めている。連携が不足しているのではなく、外部との連携の必要性がない保護者が多いことによると推測される。

【お子さんの様子】



⑮ ほっとスクールで過ごす決まり事を理解している

- ・「はい」は、尾山台 100%、城山 95.5%、希望丘 86.7%の順。
- ・いずれの施設も「いいえ」は一人もいない。

⑯ ほっとスクールに安心して行くことができる

- ・「はい」は、希望丘 88.9%、城山 72.7%、尾山台 60.6%の順。
- ・希望丘では「いいえ」は一人もいない。城山では 4.5%、尾山台では 10.0%。

いずれの施設でも「いいえ」はほとんど見られず、「はい」が非常に多い結果となっている。中でも希望丘は、特に多くなっている。
また、いずれの施設においても自由意見では、「安心して居心地がよい」「楽しい」といった様子を感じている意見が非常に多く見られた。

【ほっとスクールに通ってからの変化】

⑰ ほっとスクールに通うことで生活リズムが改善した

- ・「はい」は、希望丘 64.4%、城山 54.5%、尾山台 50.0%の順。
- ・「いいえ」は、尾山台では 20.0%、城山では 13.6%、希望丘では 8.9%の順。

⑱ ほっとスクールに通うことで学校との関係に良い変化があった

- ・「はい」は、尾山台 60.0%、希望丘 55.6%、城山 33.3%の順。
- ・「いいえ」は、城山では 28.6%、尾山台では 20.0%、希望丘では 11.1%の順。

生活リズムの改善は、いずれの施設でも半分以上が感じている。
学校との関係の改善は、尾山台や希望丘では 5 割以上、城山では 3 割程となっている。
自由意見では、「前向きに取り組むようになった」「心を開くようになった」「学校に通えるようになった」「活動的になった」「笑顔や会話が增えた」「対人スキルが上がった」「友達ができた」など、ほっとスクールに通うことにより、子どもの様子により変化があったと感じる意見が多く見られた。

【その他：自由回答から】

いずれの施設でも、スタッフによる子どもへの手厚い支援と、ほっとスクールを設置していることに対する感謝の声が非常に多く見られた。また、施設の運営体制やスタッフの対応に対する批判的な意見は、ほとんど見られない。

マイナス面の指摘としては、「保護者に対する態度がスタッフにより差がある（城山）」「責任者の交代頻度の高さによるルールや進級指導の変更（尾山台）」などが見られた。

要望としては、「ネットリテラシーやスマートフォンとの適正な付き合い方、性教育についての指導（城山）」「施設の増設（尾山台・希望丘）」等が見られた。